

二〇二二年度高卒程度試験の実施概要

人材局試験課

人事院は、高卒程度試験として、一般職試験及び専門職試験を実施しています。

本年度の試験は、一月一九日の海上保安大学校学生採用試験等の最終合格者の発表を最後に全て終了しました。

本年度の採用試験のうち、刑務官採用試験は、台風一四号の影響により、沖縄県を除く法務省福岡矯正管区内の七県八試験地での第一次試験の実施を延期しました。

I 新型コロナウイルス感染症への対応
申込み開始に先立つ令和四年三月四日に、二〇二二年度国家公務員採用試験における新型コロナウイルス感染症などへの対応について人事院ホームページに掲載して、マスクの着用や体調不良の方への対応など注意事項を周知しました。

実施に当たっては、昨年度に引き続き、受験者の着席位置を空けたり、受付付近で受験者が密集しないようにするいわゆる「三つの密（密集・密接・密閉）」の回避

のほか、手洗いやアルコール消毒を促したりするなど感染症対策を講じました。さらに筆記試験以外の試験種目についても、身体的距離の確保や控室内の換気などの感染症対策を講じました。

II 実施結果

本年度実施された一〇種類一一試験の高卒卒業程度試験の実施結果について、その概要を紹介します。

なお、院卒者試験・大学卒業程度試験等の実施概要は、人事院月報二〇二三年二月号で紹介しています。

一般職試験（高卒者試験及び社会人試験（係員級））

一般職試験は、典型的な事務をその職務とする係員の採用試験です。（実施結果の詳細は表1、2のとおり。）

① 申込者

申込者数は、高卒者試験が一、一九一人で、昨年度に比べ一、七七九人（一三・七％）の減少、社会人試験（係員級）が二九九人で、昨年度に比べ二六八人（九・五％）の増加となり、全体では一一、四九〇人で、昨年度に比べ一、七五三人（一三・二％）の減少となりました。

このうち女性の申込者数は、高卒者試験が四、〇五八人（昨年度四、三九九人）、社会人試験（係員級）が五一一人（昨年度三八人）、全体では四、一〇九人（昨年度四、四三七人）でした。また、申込者に占める女性の割合は、高卒者試験が三六・三％（昨年度三三・九％）、社会人試験（係員級）が一七・一％（昨年度二三・九％）、全体で三五・八％（昨年度三三・五％）でした。

高卒者試験の申込者の学歴別割合は、専修学校等が四九・一％と最も多く、次いで高等学校が四七・四％でした。（表3）

② 合格者

合格者数は、高卒者試験が三、三三三人で、昨年度に比べ二一五人（六・九％）の増加、社会人試験（係員級）が四四人で、昨年度に比べ二一人（三七・五％）の増加

表1 国家公務員採用試験(高卒程度試験)実施結果

試験名	申込者数(A)				合格者数(B)				倍率(A/B)	
	2022年度	2021年度	対前年度増減		2022年度	2021年度	対前年度増減		2022年度	2021年度
	人	人	人	%	人	人	人	%	倍	倍
一般職 (高卒者)	11,191 (4,058) 《36.3%》	12,970 (4,399) 《33.9%》	▲1,779	▲13.7	3,333 (1,237) 《37.1%》	3,118 (1,116) 《35.8%》	215	6.9	3.4	4.2
一般職 (社会人)	299 (51) 《17.1%》	273 (38) 《13.9%》	26	9.5	44 (8) 《18.2%》	32 (5) 《15.6%》	12	37.5	6.8	8.5
小計	11,490 (4,109) 《35.8%》	13,243 (4,437) 《33.5%》	▲1,753	▲13.2	3,377 (1,245) 《36.9%》	3,150 (1,121) 《35.6%》	227	7.2	3.4	4.2
皇宮護衛官 (高卒程度)	405 (124) 《30.6%》	388 (125) 《32.2%》	17	4.4	13 (5) 《38.5%》	23 (5) 《21.7%》	▲10	▲43.5	31.2	16.9
刑務官	4,115 (942) 《22.9%》	4,532 (1,065) 《23.5%》	▲417	▲9.2	1,045 (269) 《25.7%》	1,019 (276) 《27.1%》	26	2.6	3.9	4.4
入国警備官	1,822 (556) 《30.5%》	2,164 (596) 《27.5%》	▲342	▲15.8	174 (54) 《31.0%》	65 (19) 《29.2%》	109	167.7	10.5	33.3
税務職員	6,523 (2,078) 《31.9%》	7,239 (2,232) 《30.8%》	▲716	▲9.9	1,656 (685) 《41.4%》	1,809 (728) 《40.2%》	▲153	▲8.5	3.9	4.0
航空保安 大学校学生	390 (155) 《39.7%》	360 (144) 《40.0%》	30	8.3	120 (46) 《38.3%》	126 (50) 《39.7%》	▲6	▲4.8	3.3	2.9
気象大学校 学 生	254 (83) 《32.7%》	277 (84) 《30.3%》	▲23	▲8.3	29 (8) 《27.6%》	34 (5) 《14.7%》	▲5	▲14.7	8.8	8.1
海上保安 大学校学生	469 (126) 《26.9%》	368 (93) 《25.3%》	101	27.4	85 (20) 《23.5%》	90 (26) 《28.9%》	▲5	▲5.6	5.5	4.1
海上保安 学 校 学 生	3,573 (613) 《17.2%》	3,766 (619) 《16.4%》	▲193	▲5.1	647 (101) 《15.6%》	643 (105) 《16.3%》	4	0.6	5.5	5.9
海上保安 学 校 学 生 (特 別)	6,067 (1,492) 《24.6%》	6,602 (1,548) 《23.4%》	▲535	▲8.1	1,026 (275) 《26.8%》	1,192 (321) 《26.9%》	▲166	▲13.9	5.9	5.5
小計	23,618 (6,169) 《26.1%》	25,696 (6,506) 《25.3%》	▲2,078	▲8.1	4,795 (1,463) 《30.5%》	5,001 (1,535) 《30.7%》	▲206	▲4.1	4.9	5.1
合 計	35,108 (10,278) 《29.3%》	38,939 (10,943) 《28.1%》	▲3,831	▲9.8	8,172 (2,708) 《33.1%》	8,151 (2,656) 《32.6%》	21	0.3	4.3	4.8

(注) ()内の数字は女性を内数で示し、《 》内の数字は女性の割合を示す。

表2 一般職試験(高卒者試験)試験区分別実施結果

試験の区分	申込者数(A)				合格者数(B)				倍率(A/B)	
	2022年度	2021年度	対前年度増減		2022年度	2021年度	対前年度増減		2022年度	2021年度
	人	人	人	%	人	人	人	%	倍	倍
事務	9,416 (3,791)	11,187 (4,149)	▲ 1,771	▲ 15.8	2,341 (1,078)	2,187 (990)	154	7.0	4.0	5.1
技術	1,285 (206)	1,387 (195)	▲ 102	▲ 7.4	774 (129)	728 (99)	46	6.3	1.7	1.9
農業土木	291 (36)	255 (29)	36	14.1	161 (21)	157 (21)	4	2.5	1.8	1.6
林業	199 (25)	141 (26)	58	41.1	57 (9)	46 (6)	11	23.9	3.5	3.1
合計	11,191 (4,058)	12,970 (4,399)	▲ 1,779	▲ 13.7	3,333 (1,237)	3,118 (1,116)	215	6.9	3.4	4.2

(注) ()内の数字は、女性を内数で示す。

表3 一般職試験(高卒者試験)申込者・合格者の学歴構成

学歴	申込者		合格者	
	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度
	人	人	人	人
短大・高専	297 (2.7)	309 (2.4)	59 (1.8)	63 (2.0)
専修学校等	5,500 (49.1)	6,192 (47.7)	1,792 (53.8)	1,663 (53.3)
高校	5,307 (47.4)	6,388 (49.3)	1,465 (44.0)	1,385 (44.4)
中学	33 (0.3)	25 (0.2)	8 (0.2)	0 (0.0)
その他	54 (0.5)	56 (0.4)	9 (0.3)	7 (0.2)
合計	11,191	12,970	3,333	3,118

(注) 1 ()内の数字は、学歴別の割合(%)を示す。
2 学歴は既卒、卒見、在学中、中退の総数である。
3 「その他」は、大学在学中、中退の総数である。

となり、全体では三、三七七人で、昨年度に比べ二二七人（七・二％）の増加となりました。

このうち女性の合格者数は、高卒者試験が一、二三七人（昨年度一、一一六人）、社会人試験（係員級）が八人（昨年度五人）、全体では一、二四五人（昨年度一、二二一人）でした。また、合格者に占める女性の割合は、高卒者試験が三七・一％（昨年度三五・八％）、社会人試験（係員級）が一八・二％（昨年度一五・六％）、全体では三六・九％（昨年度三五・六％）でした。

高卒者試験の合格者の学歴別割合は、専修学校等が五三・八％と最も多く、次いで高等学校が四四・〇％でした。

専門職試験（九試験）

専門職試験は、特定の行政分野に係る専門的知識を必要とする事務をその職務とする係員の採用試験で、皇宮護衛官採用試験（高卒程度試験）、刑務官採用試験、入国警備官採用試験、税務職員採用試験、航空保安大学校学生採用試験、気象大学校学生採用試験、海上保安大学校学生採用試験及び海上保安学校学生採用試験の八種類九試

験（海上保安学校学生採用試験は年二回）を実施しています。（実施結果の詳細は表1のとおり。）

① 申込者

申込者数は、九試験を合わせて二三、六一八人で、昨年度に比べ二、〇七八人（八・一％）の減少となりました。このうち女性の申込者数は六、一六九人（昨年度六、五〇六人）でした。また、申込者に占める女性の割合は二六・一％（昨年度二五・三％）でした。

② 合格者

合格者数は、九試験を合わせて四、七九五人で、昨年度に比べ二〇六人（四・一％）の減少となりました。このうち女性の合格者数は一、四六三人（昨年度一、五三五人）でした。また、合格者に占める女性の割合は三〇・五％（昨年度三〇・七％）でした。

拡大文字・時間延長による試験

人事院では試験の実施に当たり、身体障害等がある受験者に対してその申出に基づき必要な受験上の配慮を行っています。例えば、一般職試験（高卒者試験及び社会

人試験（係員級）、税務職員採用試験及び気象大学校学生採用試験においては、視覚障害者等に対して、拡大文字による試験、解答時間の延長の措置等を講じています。本年度は、拡大文字による試験、解答時間の延長の措置の申出はありませんでした。

インターネット申込状況

受験申込みの利便性や効率性の向上を図る観点から、平成二四年度から全ての試験にインターネットによる受験申込みを導入し、その促進に努めてきました。

本年度のインターネットによる申込者の割合は、一般職試験（高卒者試験及び社会人試験（係員級））では一〇〇％（昨年度一〇〇％）、専門職試験（九試験の合計）では九九・九％（昨年度九九・九％）、また、高卒程度試験全体では九九・九％（昨年度九九・九％）に達しました。

区分試験の実施等

① 一般職試験関係

高卒者試験及び社会人試験（係員級）については、「事務」と「技術」の両区分は採用地域別に区分した試験（地域試験）と

しており、「農業」、「農業土木」、「林業」の各区分は全国試験としています。

本年度は、このうち採用予定がなかったため休止とした区分・地域を除き、次の試験を実施しました。

○ 高卒者試験

・「事務」区分……北海道・沖縄の全九地域

・「技術」区分……北海道・沖縄の全九地域

全九地域

・「農業土木」区分

・「林業」区分

・「農業」区分は休止

○ 社会人試験（係員級）

・「技術」区分……北海道、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国、

東海北陸、近畿、中国、

四国及び沖縄の七地域

域

・「農業土木」区分

・「事務」、「農業」及び「林業」区分は休止

② 専門職試験関係

ア 皇宮護衛官採用試験については、本年度は、採用予定がなかった護衛官（社会人）区分は休止し、護衛官区分のみを

実施しました。

実施しました。

イ 刑務官採用試験の各区分については、地域試験としています。本年度は、このうち採用予定がなかったため休止とした地域を除き、次の試験を実施しました。

・「刑務A」区分……北海道・沖縄の全九地域

九地域

・「刑務B」区分……沖縄を除く八地域

・「刑務A（社会人）」区分……沖縄を除く八地域

く八地域

・「刑務B（社会人）」区分……沖縄を除く八地域

く八地域

・「刑務A（武道）」区分……北海道・沖縄の全九地域

域

八地域

・「刑務B（武道）」区分……沖縄を除く八地域

八地域

（注 Aは男子、Bは女子を対象）

Ⅲ おわりに

二〇二三年度の国家公務員採用試験の詳しい情報は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」に順次掲載していきますので、是非御覧ください。その他にも、国家公務員採用試験の受験を考えている方に採用試験、各種イベントなどの

情報をツイッター、インスタグラム、メールマガジンで提供していますので、登録してください。

また、二〇二三年度国家公務員採用試験の施行計画を2ページに掲載しておりますので、そちらも併せて御覧ください。

人事院としては、引き続き、行政サービスの基盤を支える優秀かつ多様な人材を国家公務員採用試験によって確保するため、公務の魅力幅広く伝えられるよう各府省と連携して採用試験の広報活動を行うとともに、採用試験の適正な実施に努めてまいります。